

Bruhn, Wolfgang

Das Kostümwerk ; Eine Geschichte des Kostüms aller Zeiten und Völker vom Altertum bis zur Neuzeit einschließlich der Volkstrachten Europas und der Trachten der anßereuropäischen Länder. 200 Tafeln, von denen 120 in Vierfarbendruck, 80 in Tiefdruck wiedergegeben sind, und 12 Tafeln mit kostümschnitten, von Wolfgang Bruhn und Max Tilke.

Berlin, Wasmuth, 1941. (文献番号 3-40)

ブルーノ著

服装書；120枚の4色刷りと80枚のおう(凹)版印刷の複写から成る200枚の図版と12枚の服装裁断図を伴ったヨーロッパの民族衣装、及びヨーロッパ以外の国々の服装の古代から近世までの民族とすべての時代の服装の歴史

ドイツの服装研究家で画家であるフォン・ティルケ(Max von Tilke. 1869-1942)が図版を担当し、民族学者で、国立芸術図書館館長及びリッパーハイデ服装図書館館長を務めたブルーノ(Wolfgang Bruhn)が監修にあっている。本書が出版されるには次のようないきさつがあった。

ローゼンベルク(Adolf Rosenberg)著、ハイク(Eduard Heyck)博士編さんによる「服装の歴史」(Geschichte des Kostüms)(文献番号3-25)全5巻が1905-1923年にベルリンのE. ヴァスマート社から出版された。全8章から成り、それぞれ各巻に80枚の図版が挿入され、史的な解説文が付されている。内容は、第1章古代オリエント・エジプト(図版1-21) 第2章古代ギリシア・ローマ(図版22-59) 第3章中

世(図版60-120) 第4章16世紀(図版121-170)

第5章17世紀(図版171-220) 第6章18・19

世紀、1820年まで(図版221-300) 第7章ヨー

ロッパの民族服(図版301-364) 第8章アジア

・アフリカ・アメリカの民族服(図版365-400)

である。やがて、これが絶版になると、服装に関

する包括的で安価な書籍の発売が諸国で久しく待

望されていたので、そのような書籍の出版計画が

立てられていた。「服装の歴史」の出版当時、その

基礎資料の大半を作成したティルケがなお存命だ

ったので、あらゆる面の補遺と別人の手によって

描かれたすべての図版を新たに手直しすることを

引き受けてくれたため、多くの誤りを除去し、芸術

的に統一された書物を作り出すことが可能にな



った。ブルーは彩色図版や黒色図版の補遺を監修して、銅版画や写真から図版を選択し、緒言を記し、ハイクの図版解説を参照して本書の図版の解説を校閲した。本文にはティルケの手による服型を示す多数の図版が加えられたが、これらの図版は、衣服を仕立てる実際面で有意義であると共に個々の服装の発達と変遷に関する注目すべき洞察をもたらしてくれる。

本書は、ほぼ4000点の服装を示す 200 枚の図版を収録することによって、服装学の全分野を網らしている。古代から19世紀末期までのあらゆる時代、あらゆる国々における最も重要な服装が概説されると共に、それに関連して、民族衣装とヨーロッパ以外のすべての国々の衣装が概説されているばかりか、服装に関する著作を読者が使いやすいように一巻にまとめてある。さらに、本書が好評を得ると、英語版の出版の希望が起こり、「図説服装の歴史」(A pictorial history of costume) (文献番号 3-50) が1955年、ロンドンのA. ツウェマー社から出版された。

原書は、図版が紙の片面だけに印刷された、かさ張った一巻ものであったが、このイギリス版は、より手ごろな一巻ものにするため図版が紙の両面に印刷されている。“Kostümwerk”の12枚の服装裁断図は、ティルケの補遺的作品「衣装裁断と衣服形成」(Kostümschnitte und Gewandformen) (文献番号 3-43) に合体されているので、この英語版には除外されている。彩色図版はティルケによって彩色された原版の複写であり、単色図版については、部分的にはティルケの描画から、また部分的にはリッパーハイデ服装図書館の版画や写真から使われた。ティルケとブルーの他の著作については索引を参照されたい。

図・左は、肖像画から抜粋された16世紀ドイツの衣装。1514年から1564年までの宗教改革とスペイン風の流行とザクセン公ハインリッヒ夫人の衣装部分(クラナッハ作、1514年、ドレスデン国立絵画館蔵)。図・上は、ドイツの民族衣装、図・下は、インドから北西アフリカまでの様々なターバン。

